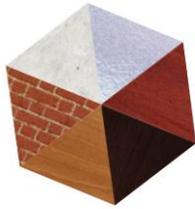


報道関係者各位



## 第2回 POLUS -ポラス- 学生・建築デザイン コンペティション

公開審査会 受賞者決定！

最優秀賞『衣替えする住宅』むらまつゆうき やまもとだいち  
(村松佑樹・山本大地)  
優秀賞『つもる蔵詩』くらし やまざきもとひろ むらかみひろあき おおとうまりか  
(山崎基弘・村上大昴・大堂麻里香)

ポラスグループ ポラス株式会社

ポラスグループ ポラス株式会社(本社:埼玉県越谷市 代表取締役:中内晃次郎)では、『第2回 POLUS-ポラス-学生・建築デザインコンペティション』の公開審査会を6月25日(木)に開催し、最優秀賞(1点)、優秀賞(1点)、入選(3点)、佳作(6点)が決定しました。

- ◆ 最優秀賞 『衣替えする住宅』  
村松 佑樹(東京理科大学大学院)／山本 大地(東京理科大学大学院)
- ◆ 優秀賞 『つもる蔵詩』  
山崎 基弘(大分大学大学院)／村上 大昴(大分大学大学院)  
大堂 麻里香(大分大学大学院)
- ◆ 入選 『ひとつにもなれる家』  
吉田 智大(横浜国立大学大学院)／市古 慧(横浜国立大学大学院)
- ◆ 入選 『5月のツバメは空を渡る』  
守屋 真一(芝浦工業大学大学院)／門井 慎之介(芝浦工業大学大学院)  
荒武 優希(芝浦工業大学大学院)
- ◆ 入選 『NEXT ROOF GARDEN』  
洞口 由宇(日本大学)
- ◆ 他、佳作6点

### コンペティションのテーマ:『時のかさなり』。

今つくられる街並みも、50年、100年経てば、ずいぶん変わります。「時のかさなり」を含めて、新しくつくられる町並みを木造建築でデザインしていただきます。

この公開審査会では、応募総数447件の中から1次審査を通過した作品5組による公開審査で、各組、発表者のプレゼンテーション(5分)および審査員との質疑応答(7分)を行いました。

本コンペティションは、大学院や大学、高等専門学校、専修学校、高等学校などに通う学生を対象に、建築の道を志す学生の自由で新鮮な発想(アイデア)を表現・公表する機会を設け、将来活躍が期待される学生の方々を応援するものです。

## 最優秀賞受賞者コメント

### 『衣替えする住宅』

#### 村松 佑樹（東京理科大学大学院）

本日は審査員の先生方から多くのご指導、ご指摘をいただきましてありがとうございました。  
二次審査用の模型製作の際には意見の対立など苦労もありましたが、最優秀という賞をいただくことができ、とても嬉しく思います。

僕たちが表現したかったことが実際の建築としてより良いものになるよう、今後も2人でブラッシュアップしていければと思っています。

#### 山本 大地（東京理科大学大学院）

本日はたくさんの貴重なご指摘、ご意見をいただきましてありがとうございました。  
さらに最優秀に選ばれたことはうれしい限りです。

ここで満足するのではなく、これからも良いものを設計していきたいと思っています。この期間中苦労も多々ありましたが、これからも2人で頑張っていきたいと思っています。

## ■ 審査員の講評

### 審査員長 青木 淳氏（青木淳建築計画事務所）

街の問題、住宅の問題、人が集まって住むということに対して木造建築で応えていくということを本コンペでは問うています。

現実的な問題に対処し解決することが、これからの重要な課題になるので、昨年の第1回と比べると、今回の第2回はより具体的な課題になりました。

今後も夢だけではなく、現実に対してどう対面し、どのような提案ができるか、それを審査するコンペになっていけば良いと思っています。447の応募作品があった中、本日の5作品はどれも素晴らしいものでした。

## ■ ポラスグループ代表 中内 晃次郎挨拶

昨年の第1回は応募点数など反響がとても良かったので、今年はどうなるかと少し心配しておりましたが、登録数が800件、応募作品数が447件とたくさんの反響を頂き、このコンペが少しずつ学生の皆さんに浸透してきているように感じ、嬉しく思っています。

入賞された5作品はテーマに沿ってたくさんのアイデアが盛り込まれており、非常に素晴らしいものでした。

今回から新たに、佳作の表彰を設けさせていただきました。佳作は当初5作品の予定でしたが、審査員の方々も絞り切れなかったとのことで6作品の受賞ということになりました。全体的に作品の質の高さが伺えて嬉しく思いました。

建築を志望する、若い学生の皆さんの目を木材産業、住宅産業に向けていただき、活躍していただく機会を提供していきたいという主旨で、このコンペを開始しましたので、今回のコンペも「木造」にこだわらせていただきました。木造にこだわり続けていくことで、木材産業、住宅産業に対する社会や学生の皆さんの理解を深めていただき、今後の日本の建築文化・住文化・住生活をより良くできればと思っています。

このコンペを通じて「作品の実物件化(※1)」も進めております。学生の皆さんには学業として建築を勉強するだけではなく、実物件のプロジェクトを通じて、可能性を最大限に広げて頂きたいと思っています。

第3回、またそれ以降のコンペを通じて、将来楽しみな新しい才能を見出し、業界の発展に、より一層寄与して参りたいと思います。

### (※1)作品の実物件化

昨年、第1回の全応募作品(458作品)を実物件化という視点で改めて選定し、1作品について、「実物件化プロジェクト」が進行中。

プロジェクト予定地は、本年11月中旬販売開始予定のつくばエクスプレス「三郷中央駅」より徒歩8分に位置する10棟の戸建分譲現場。第2回の応募作品の実物件化も、近く選定予定。

### 本件に関するお問い合わせ先

ポラスグループ ポラス株式会社 経営企画部 広報チーム

丸岡 青柳

TEL:048-989-9151 / FAX:048-987-9271

e-meil:01824aoyagi-bb@polus.co.jp



公開審査会  
プレゼンの様子

最優秀賞の  
村松 佑樹さん  
(向かって右)  
山本 大地さん  
(同左)



入賞者、審査員の皆さん及び  
ポラス代表 中内(前列右か  
ら3人目)

# 最優秀賞『衣替えする住宅』

## 衣替えする住宅

季節が変化する住まいを提案する。季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。

敷地条件：戸建住宅用地  
 敷地面積：約100坪  
 建築条件：敷地面積の約80%を建築可能とする。敷地面積の約20%を植栽スペースとする。敷地面積の約10%を駐車スペースとする。

建築概要  
 建築年：2023年  
 建築種別：戸建住宅  
 建築面積：約100坪  
 延床面積：約100坪  
 構造：RC造

1. 用途のコンセプト  
 季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。

2. 季節ごとの生活スタイル  
 季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。

3. 4つの空間的特徴「外部・半外部・半内部・内部」  
 季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。

4. 空間を衣替えすることによるインテリアデザインの進化  
 季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。

5. アパレル「上着・コート・肌着」  
 季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。

6. プログラム「戸建住宅・学生寮」  
 季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。季節ごとの生活スタイルに合わせた空間を提案する。

# 優秀賞『つもる蔵詩』

## つもる蔵詩

かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。

01 敷地条件  
 敷地面積：約100坪  
 建築条件：敷地面積の約80%を建築可能とする。敷地面積の約20%を植栽スペースとする。敷地面積の約10%を駐車スペースとする。

02 設計方針  
 敷地面積：約100坪  
 建築条件：敷地面積の約80%を建築可能とする。敷地面積の約20%を植栽スペースとする。敷地面積の約10%を駐車スペースとする。

03 まらしがもるみんなの蔵  
 かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。

04 共に暮らす暮らしの提案  
 かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。

05 まらしとみんなの蔵を繋げる空間提案  
 かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。

06 暮らしの提案  
 かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。

07 暮らしの提案  
 かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。

08 暮らしの提案  
 かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。

09 暮らしの提案  
 かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。

10 暮らしの提案  
 かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。かつての日本建築の暮らし。